

進路指導室へようこそ

前橋女子高校進路指導部

令和5年度 MJ 進路通信 第4号

令和5年5月11日(木)発行

■大きく差がでる5月～上昇気流に乗るか、下降気流に巻き込まれるか?～

大型連休も終了しました。4月は新学期の行事や短縮授業もあり比較的ゆっくりとしたペースで授業が進みましたが、ここからは平常の前女のペースで授業も進んでいきます。

ゴールデンウィークを過ぎると、高校生は2つのタイプに分かれます。4月は緊張して過ごしているのに流れに乗ればさほど問題は起きませんが、ゴールデンウィークという長い休みが入ることで「ほっ」と力が抜けてしまい、だらだらしてしまう人が出てきます。逆にゴールデンウィークで4月の疲れを充分にとってリフレッシュし、5月から本格的に前女生活を送ることができるようになるはず。皆さんはぜひ後者でお願いします。

■学習時間調査結果より

4月に実施した進路生活実態調査から、日々の学習時間の様子を集計しました。どの学年も昨年より学習時間が減少、特に休日の学習時間が大きく減っているのが心配です。1日たった10分でも1週間で1時間、1年経てば50時間!。それなりの量の問題集が1冊仕上げられるレベルです。

平日	平日						休日						
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
	1年		2年		3年			1年		2年		3年	
30分未満			1	0.4	2	0.7	30分未満			1	0.4	1	0.4
30分～1時間	4	1.4	14	5.1	4	1.4	30分～1時間	4	1.4	6	2.2		
1～2時間	48	17.1	59	21.4	21	7.5	1～2時間	7	2.5	15	5.4	9	3.2
2～3時間	120	42.7	107	38.8	91	32.5	2～3時間	43	15.3	23	8.3	16	5.7
3～4時間	86	30.6	77	27.9	97	34.6	3～4時間	84	29.9	51	18.5	32	11.4
4～5時間	20	7.1	10	3.6	40	14.3	4～5時間	62	22.1	61	22.1	43	15.4
5～6時間	2	0.7	2	0.7	9	3.2	5～6時間	44	15.7	54	19.6	61	21.8
6時間以上	1	0.4	6	2.2	9	3.2	6時間以上	37	13.2	63	22.8	111	39.6
平均(分)	148		145		184		平均(分)	233		262		322	
昨年度平均(分)	165		150		188		昨年度平均(分)	282		263		367	

まずは日々の生活を振り返り、無駄にしている時間はないか、学習方法に改善点はないかをしっかり考えてみましょう。多くの先輩方が実践してきたことの1つが「スキマ時間を活用する」こと。登下校時の電車の中、ちょっと早く登校して学校で予習、帰宅して夕食までのちょっとした時間、など、1日のなかには上手く生かせる時間が必ずあります。欲張らず、少しずつ学習を積み重ねていきましょう。

■中間考査に向けて

23日から中間考査。新しい学年になり最初の定期試験です。特に1年生は高校最初の定期試験ですので緊張感もあると思いますが、定期試験は日頃の学習の取り組みを見直すためにあるものです。いい結果が出ればそれに越したことはないですが、大事なのは実際に受験してうまくいかなかったところを、次の試験で挽回できるようにすることです。失敗したって、いいんです。失敗や反省を繰り返しながら自分にあった学習法を見つけていきましょう。2・3年生にとっては心機一転のチャンスです。「自分はせいぜいこの程度」という思い込みを捨て、自分で勝手に設定した限界値を超えるつもりで頑張ってください。

■先輩からのメッセージ2～大学紹介～

東北大学医学部医学科 Kさん

私からは東北大学や学生生活の紹介、後輩の皆さんへのアドバイスを書かせて頂こうと思います。

本学の先生方はよく、東北大学は研究大学であり研究者の養成に力を入れている、というお話をします。実際1年生のうちにも、最先端の研究分野(認知心理学、医工学など)についての講義を聴いたり、実験のレポート課題を一流の研究者に見て頂いたりすることができますし、医学生の場合は研究室を訪問する機会、希望によっては研究に参加させてもらう機会を頂けたりと、贅沢に学べる環境があります。研究に興味がある方や勉強好きな方は、ぜひぜひ東北大に来てください!

大学生活で一番楽しいのは人との交流です。私は自分から話しかけに行く方なので、もう何人の方と話したか分かりません。色々な学部や出身地の人と話すのは本当に面白く、学ぶことも多いです。医学生の場合、1年前半ではほぼ全て時間帯に授業があるし、テストが待っているうえに課題が毎日出るので勉強面で厳しめですが、だからこそみんなで頑張ろうという団結力があります。夜まで友達とキャンパスに残って課題をやる、ということをよくしています。人と一緒にやると困ってもすぐ助けてもらえてありがたいし、楽しいです。

コロナの警戒感が薄れているこの頃ですが、東北大でも今年から、授業形態がオンラインから対面に急激に戻ったそうで、思い描いていたようなキャンパスライフを送れています。部活やサークルについても現状特に規制がなく、お昼時になるとキャンパスがとても賑やかです。授業がない時は家で自炊などをする以外に、友達と買い物やご飯に行っています。みんなでひとつの場所に集まって活動するということはやはり貴重だと実感しています。でも、感染症に苦しむ方は未だ非常に多いということも忘れてはならないと思います。

高校生の頃を振り返ると、受験と勉強を全力で頑張ったよかったですという気持ちになります。受験期は苦しかったし二次試験本番の最中も重圧に押しつぶされそうで早く帰りたいと思いましたが、逃げなくて良かったです。正直、最後までやり切ったという試験後の喜びは、合格が分かった時の喜びと同じくらい大きかったです。後輩のみなさんも最後までやりぬいてほしい、これが一番伝えたいことです。

勉強に関して一つだけアドバイスがあります。自分で考えて勉強してください。他の人の勉強法を参考にすることも重要ですが、結局やり方は人それぞれ違います。私の場合は一回一回丁寧に問題に取り組むタイプで、じっくり理解することで自分のものにするということが多かったです。一方で、同じ医学科の友達には、数学の問題は30回解いて体に染み込ませたと言う方もいました。自分のタイプ（性格や能力）と入りたい大学の問題の特徴をよく分析して、腰を据えて勉強してください。分析する力は受験後も役立つと思います。

前女には受験のためにというだけではなくて、その先につながるように勉強できる環境が整っていると思います。先生方はその教科が好きになるような楽しい授業をしてくださいますし、先輩や先生からのアドバイスを頂戴して自分の進路や学習計画についてじっくり考えることができます。ぜひ今の環境を生かして、それぞれの道を突き進んでください。前女のみなさん、応援しております！

明治大学文学部演劇学専攻 Aさん

私は明治大学文学部演劇学専攻です。高校生のとき、ずっとやり続けていた習い事や部活の影響もあってこの学部専攻に興味を持ちましたが、周りの前女生に志望先を尋ねてみるとこんなに面白そうな所なのに志望している子が全く居ない…それどころか先輩でこういう系統に進んだ人を見かけない…、自分が情報不足だけで実はめちゃくちゃ試験が難しいのかとか（実際大変でしたが）、評判が悪いのかとか考えたこともありました。

しかし、全くそんなことはありませんでした。同じ専攻の子たちはみんな本当に面白い人ばかりで、地元劇団に所属していたり、演出家を目指していたり、ディズニーオタクもいたり、歌詞作りが趣味の人、やったことはないけど舞台はすごく観に行く人もいたり…。みんなに毎日刺激を得る日々で、とても楽しいです。ちなみにどうでも良いことかもしれませんが、演劇学専攻だけあって、俳優を目指しているのか顔が整っている男子をチラホラ見かけます笑。

授業も興味があるものを選べるので、つまらないものはありません。（語学は必修なので逃れられませんが…笑）演劇やバレエなどの劇史や理論を学び、最近はずみで必要になるのでシェイクスピアを読み始めました。映像で舞台を観る授業もあります。小中高校では学習できないものを学校で学べる感覚は面白いです。まだ授業は始まって間もないのでそんなに詳しくは話せませんが、いずれまた報告出来たらと思います。

恐らく、進路を迷っている人の中でも、私のように学びたいものに自信を持ってない、決まらない人もいます。でも、適当に考えるのではなく、興味があることを学んだ方が大学生活が充実すると私は考えます。現にやりたいことに通じるもの学んでいる私はいま本当に楽しいからです。つらい時期を乗り越え、充実した毎日を得られて良かったと思っています。まだこれからが楽しみです。